

LANDRiV for FOCUS リリースノート

2018年 5月 9日

LANDRiV for FOCUS バージョン 2.11.0

株式会社 ニコン・トリプル

目次

◆ LANDRiV for FOCUS 新バージョンリリースのご案内	2
◆ 修正・改良内容	2

◆ LANDRiV for FOCUS 新バージョンリリースのご案内

以下のとおり、LANDRiV for FOCUS の新バージョンをリリースいたしましたのでご案内いたします。

ソフトウェア名	バージョン	対応機種
LANDRiV for FOCUS	2.11.0	SPECTRA FOCUS 35 トータルステーション シリーズ

本バージョンの主な変更点は、以下のとおりです。

- ① 気泡管表示画面に整準ガイドを追加しました。
- ② 対回観測の改良をし、オートロック時に目標以外の反射物を追尾してしまう現象を軽減しました。
- ③ 中心線入力の不具合を修正しました。

尚、詳細につきましては、下記内容をご確認ください。

◆ 修正、改良内容

● 「気泡管表示」

- 整準する際に整準ネジの回転方向を指示する、「正準ガイド」表示を追加しました。

● 「対回観測」

- 全自動観測において、1 対回反以降の観測時にはプリズムロック後にオートロックを一時解除して測距、測角を行うようにしました。これにより、目標のプリズムをロックした後の測距・測角時に他の反射物を追尾してしまう事が改善されます。
- 半自動観測において、1 対回反以降の観測時には 1 対回正での測距値を使った距離フォーカスを行うようにしました。自動車の往来が多い道路を挟んだ観測時など、オートロック ON では目標以外を追尾してしまう状況の際に、オートロックを OFF にして半自動観測を行う事で作業性が改善されます。

- 「オートフォーカス」

- オートロックを OFF にした状態でも、プリズムにオートフォーカス（本体右側のトリガーキーを短く押す）が利くように改良しました。

- 「中心線入力」

- 片押し法で途中の要素を編集（カーブ長の変更等）すると、編集要素以降の要素の接線法線角が変更されない不具合を修正しました。

以上